

2月 リンドウ会議を開催すると共に、自生種のタネを育成協力を得られる20数名に、種まきをお願いする。

S氏の場合

128プラグトレイに、市販の種まきの土pH6以下の土を使用。

自生種のタネを、7日間ジベレリン100ppm溶液に漬けた後、種まきを実施。

タネは、土の上に置くだけで、土をかぶせない。

雨が直接かからなくて、日が当たる場所に置く。

土が乾かないように水やりを行う。

土が少しでも乾いた時間があると、発芽しない。

発芽は、条件が良ければ、80%程度。

2月にタネをまき、1ヶ月後の3月に発芽を確認。



(自生種の苗 2月種まきをし、3月の状態)



タネと同様、二葉は小さい。発芽後、2週間たっても二葉のまま成長していない。

二葉が出て、1ヶ月後の4月に4葉になる。

(5月の状態)



5月に一部、大きい鉢に移植を実施。根がプラグトレイの底にまで到達している。

根を乾燥させないように、土を落とさないように移植を実施。

(5月の状態)